六月鹿ノ台教室誌上句会　優秀句

お題「未練」（連記）　澤山よう子選

この写真今になっても捨てきれず　充
ジャンボくじ百番違い捨てられず　英二
ヒールぐつはけないくせに捨てられぬ　登美
未練などないとわざわざラインする　ちさと
落とした財布に万札が一枚　アキラ
初恋の人独り身のままと聞く　義雄
初恋のカレの新居をそっと見る　千楽
花すすき未練が残るもう令和　幸男
現職にこだわり過ぎて墓穴ほる　乃り子
ぐずぐずと思い悩んで朝ぼらけ　春代
志摩観光ゴルフの未練雨が降る　宏樹
過去は過去気持ちの揺れをリセットす　哲子
いつまでも未練がましく生きていく　えいじ
天女花なごりの尾根にちちと咲く　正清
秀　遠い日の未練肴に独り酒
軸　未練ます賞味期限の切れる夢

お題「雨」　奥村義雄選

梅雨君よ今年くらいは遠慮して　千楽
雨が降り喜んでいるなすきゅうり　えいじ
男同士犬と相合傘の朝　英二
多過ぎても少な過ぎても困る雨　アキラ
君となら雨のゴルフもウエルカム　アキラ
雨上がり虹が明日を連れてくる　哲子
いさかいの気持ち鎮める雨の音　哲子
用心の傘は持たない男の子　ミノル
背伸びして雨ガサ母に幼き手　乃り子
志ん生の芝浜をきくついり雨　正清
すれ違いかしげる傘のおもいやり　登美
秀　後悔をやさしくたたむ雨の音
軸　絡み合う相合傘の裾に雨

お題「くちびる」　阿部俊八選

くちびるの動きで読めるうそまこと　登美
口紅を変えた理由が気に掛る　英二
紅さすと花が咲きます女です　広子
くちびるに思いを寄せる青い空　宏樹
悔しさにくちびる噛んで今がある　よう子
くやしさもくちびるかんで明日を期す　えいじ
口笛吹いて青空見上げる日よ　千楽
試合前真一文字の堅い意思　哲子
一文字結んだ口は何を秘す　乃り子
おしゃべりを恥じてくちびる縮こまる　広子
初デート淡いルージュで決めてゆく　哲子
秀　唇が重なり潮が満ちてくる　義雄
軸　酔うとすぐキスをしたがる癖がある　俊八

自由吟　勝部乃り子選

握手して指に残ったすき間風　よう子
朝日に誓い夕日に詫びること多く　義雄
石楠花が咲き廃校の夕日落つ　正清
要請を受けた自粛は肩が凝る　アキラ
時空こえ能の一歩という千里　正清
アマリリス賑やかに咲くよその庭　えいじ
来世でも呼ばれたいなあおかあさん　広子
人間に生まれた故にする苦労　義雄
夏の空一喜一憂国揺れる　哲子
カラフルな薬で今日も生かされる　よう子
きやすめの医者の言葉がとどめ刺す　登美
秀　ポタージュに軽い波紋が生まれてる　ちさと
軸　ＡＴＭ２メートル空け年金日　乃り子

自由吟　笹倉良一選

怒ったら鏡ごらんと娘に諭す　広子
嫁はんは料理は上手良く喋り　宏樹
人間に生まれた故にする苦労　義雄
時空こえ能の一歩という千里　正清
判断は総合的と都合良い　幸男
要請を受けた自粛は肩が凝る　アキラ
来世でも呼ばれたいなあおかあさん　広子
石楠花が咲き廃校の夕日落つ　正清
カラフルな薬で今日も生かされる　よう子
愛までもリモート動画もどかしい　哲子
テレワークあったらいいね縄のれん　千楽
秀　握手して指に残ったすき間風　よう子
軸　人間を疑い深く見る白紙　良一

◎七月投句〆　十日に変更します

七月誌上句会　投句〆　七月十日　各二句

「酒」幸男選　「広い」哲子選

「出す」（連記）春代選

自由吟（共選）千楽選　良一選

＊封書又はメール　アキラ迄

＊書式・用紙は自由、お題・柳号記入を